

事業実施予定年次



年度以降

石狩市次世代育成支援行動計画において、平成21年度から実施するものとして位置づけられている個別事業に関する取り組み状況の一覧です。

「人工」とは、職員の作業時間の単位のことをいいます。
0.1人工 = 職員1名で1か月程度の作業量

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成21年度(新規)	子育て支援課	全部会
事業名	子ども支援総合センター整備事業		
計画体系	1-(1)- 子どもに関する支援サービスの拠点づくり		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	すべての児童の健やかな育成にむけ、総合的に支援する施設を整備します		
計画策定時のイメージ	りんくろの中にある花川児童館やこども発達相談センターなども含め、子どもに関する機関も市役所のこども室窓口とさらに一元化を構想したもの。これを実現するには、市役所内ではそのスペースがとれないため、新設・既存施設のリニューアルを問わないが、新たな施設整備が必要との認識で位置づけた。		
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	市財政の逼迫状況から、施設整備は難しい。また、市役所内の業務は相互に関連性が高いので、子どもに関して総合化して庁舎から分離した場合、別の観点からデメリットになることが考えられる。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	行政サービスの状況や市民ニーズの推移を見ながら検討していく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成21年度(新規)	建築課	全部会
事業名	公営住宅の入居基準の見直し(多子世帯等の優先入居等)		
計画体系	4-(1)- 住居環境の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てを担う若い世代や多子世帯に、ゆとりある住宅を供給できるよう市営住宅の入居基準等の見直しをします		
計画策定時のイメージ	子どもの多い世帯が市営住宅に優先的に入居できるよう、入居基準の見直しを行うことを想定		
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	平成21年度の予定を早め本年度に条例改正を行い、多子世帯を優先入居の対象に加えた。しかし、現在、高齢者(高齢者の単身含む)、寡婦(母子家庭)などからの申し込みが非常に多い状況であり、競争率が高い状況にある。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	今後市営住宅の建て替等を行う際には、多子世帯専用住戸の組み込みなども検討したい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成21年度(新規)	子育て支援課	全部会
事業名	(仮称)こどもワールド整備事業		
計画体系	4-(2)- 子どもたちの居場所づくり		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	プログラムや時間に迫られない空間を子どもたちに提供し、自由な発想で遊び・学び・創作活動など、子どもたちの自主性を大切にしたい事業を、組み立て方式で展開し、子どもの夢と生きる力の育みにむけ、生き生きと過ごせる場を整備します		
計画策定時のイメージ	子どもの遊びに創意工夫を促すような子どもの遊び場づくり。既製品ではなく、自ら製作に関わった手製の遊具を念頭におく。これまでの公園整備と違って、全てが完成してから供用開始されるのではなく、遊具などは組み立てモジュール式で順次拡大するなど、子どもの創造性を触発するよう取り進める。		
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	平成18年度から(仮称)こどもワールド整備事業の試験的事業として「町のはらっぱ事業」を展開。この事業のテーマとしては、自由な遊びの中で子ども達自身が必要なルールを見出し、異年齢児による集団行動及び規範化の経験をできるようにするのか、手製のため必ずしも万全でない遊具での遊びを通じ、子ども達自身が注意力を高め危険察知さらには事故の未然防止能力を発揮できるようになるのか、はらっぱで遊ぶ子ども見守る地域コミュニティの醸成が可能かということがあげられる。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	町のはらっぱ事業を次年度以降も継続して実施し、当該事業の実現化に向けた企画の熟度を高めていく。		